

ユイマール！【沖縄】(。・v・。)っ”

4月23日(月)～4月26日(木)にかけて曾爾中学校3年生6名と教職員3名は、沖縄県に修学旅行に行きました。

この修学旅行の学年目標は次の2つです。

- ・沖縄修学旅行で関わった全ての人に感謝し、心から旅行を楽しもう。
- ・修学旅行で学び、心に感じたことを自分の生き方に繋げよう。

曾爾中を出発する5時30分時点では曇っていたけれど、関西空港に着くころには空も晴れてほっとしました。飛行機の窓から外を見てみると、雲の中を通り抜けるのが分かりました。また、四国や九州などの地形を見ることもできました。

初日は平和学習が中心です。まず、南部の平和祈念公園に行きました。そこで奈良県戦没者の名前が書かれた礎の前で黙祷をして平和宣言を読みました。次に、ひめゆりの塔の前で、二か月かけて制作した千羽鶴を飾り、資料館を見学しました。その後はガマ体験です。糸数壕(アブチラガマ)ではガイドの宮城あゆみさんの案内のもと、壕に入りました。壕の中は懐中電灯がないと足元が見えないほど真っ暗で、中心地は井戸水が流れるかすかな音しか聞こえませんでした。学習を終えてから、琉球サンロイヤルホテルで夕食を食べて、元ひめゆり学徒隊の上原当美子さんの講演を聞かせてもらいました。

タイトルにある【ユイマール】とは、バス移動中にガイドの山城さんに教えてもらった唄です。この意味は「助け合い」で、かつて激戦の地であった沖縄で復興のために、人々が助け合ったことからできた唄のようです。

2日目はまず、道の駅「かでな」の展望台から米軍の空軍基地を見学しました。そこからバスで本部港まで移動し、フェリーに乗って30分、伊江島到着です。お世話になる知念さんや島袋さんが出迎えてくれました。



マリンスポーツをした後、次の日のお昼まで民家の方と一緒に過ごしました。観光では、湧出(ワジー)、リーフィールド、城山(伊江島タッチュー)、などいろいろな場所に連れていってもらい、伊江島の文化に触れることができました。息子・娘同様に接していただいたことが嬉しかったです。その夜、残波岬ロイヤルホテルに泊まりました。夕食の焼肉バイキングでは、たくさん食べる人や早くからデザートに移った人もいました。

4日目は朝から首里城の見学に行きました。城は、見た目が想像以上に赤くて、和室部屋が多くて驚きました。その後、班に分かれて国際通りで買い物を楽しみました。中には、2日目3日目にお金を使いすぎて残金が少ない、ほかの中学校に邪魔されて班のメンバーとはぐれた人がいました。帰りの飛行機、電車、バスでは、疲れて寝ている人が多かったです。

ガイドの山城さん、宮城あゆみさん、上原当美子さんから聞いた貴重な話を、自分たちが後輩、家族など多くの人に伝えていくべきだと思いました。

民泊で沖縄料理をたくさん食べさせてもらって嬉しかったです。ゴーヤチャンプルは苦かったけど、お肉は美味しかったです。

感想

国際通りでは、並んでいる店が多くてどこで何を買おうか迷っていると店の中から「安いから買っていき」と言う声が聞こえてあやうく買いそうになりました。

美ら海水族館の「オキちゃん劇場」がとても可愛かったけどカメラ係だったので良い写真を撮ることに集中しすぎてあまり見るができなかったのが悔しかったです。

上原さんのお話はとても貴重なもので、知らないことなど詳しく話してくれてよかったです。このことを7月の修学旅行発表会に活かしていきたいと思いました。

ふるさと発信
情報局員
大西 智也